

# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,439	9.7	394	31.2	351	33.0	212	28.1
29年3月期第3四半期	4,046	4.8	300	21.8	264	22.3	166	19.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 317百万円 (44.5%) 29年3月期第3四半期 219百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	227.34	
29年3月期第3四半期	176.99	

(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,016	3,965	47.3
29年3月期	7,209	3,732	49.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,788百万円 29年3月期 3,563百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		7.00	7.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	5.9	500	1.6	430	5.8	260	26.0	277.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	1,000,000 株	29年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	66,024 株	29年3月期	62,018 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	935,778 株	29年3月期3Q	938,019 株

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月22日開催の第134期定時株主総会において、株式併合について、承認可決され、平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数を1,000株から100株へ変更しました。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末7円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期27円72銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向で推移し、緩やかな回復基調を維持しておりますものの、労働力不足による生産・物流コストの上昇や北朝鮮情勢・米国の政策動向をはじめとする海外の政治経済の不確実性もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは経営スローガンである「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」を徹底させ、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、具体的な目標を定め確実に行動し、成果を獲得する、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力を行ってまいりました。また、2017年5月に電子取引市場への対応やインターネットを活用した情報提供及び商品PRの強化などの売上拡大を目指した施策を行う「営業推進部」を新設し、「営業部」及び昨年度に設置した「営業企画部」との連携を図り、組織的な営業活動の更なる強化を進めております。加えて、ロブスターブランドの根幹である品質の維持・向上を強力に推し進めるべく、品質保証部門を独立させ、商品戦略に基づいた商品企画をより早く商品化するため、商品企画部門と商品設計部門の統合を行いました。

その結果、売上高は前年同期比9.7%増の44億3千9百万円（前年同期40億4千6百万円）となり、利益面においては、増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、営業利益で31.2%増の3億9千4百万円（同3億円）、経常利益で33.0%増の3億5千1百万円（同2億6千4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で28.1%増の2億1千2百万円（同1億6千6百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール部門では、過多であった流通在庫の正常化に向けて拡販努力を行ったモンキレンチや新商品を投入したプライヤ類が好調な推移を見せ、また、新企画商品の継続的な企画販売もあって増加しました。ファスニング部門では、エアリーベッター、エアナッター、工業用ファスナーなどが堅調な販売であったことに加え、超小型オートリベットフィーダーや住宅関連向けのファスニングツールが伸長し増加しました。切削工具部門については拡販努力をしておりますものの、価格競争の厳しさは継続しており、減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ増加しており、ハンドツール部門では韓国向けに拡販施策の奏功したモンキレンチや拡販努力と同国の一部業界の景況回復とが相まった電設工具の好調な販売により増加しました。ファスニング部門では米州向けのエアリーベッター等のファスニングツール類が全般的に好調に推移しておりますものの、その他の地域では流通在庫の過多状況継続により減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比10.2%増の42億7千2百万円（前年同期38億7千8百万円）となりました。利益面では営業利益が増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、前年同期比44.6%増の3億2千8百万円（同2億2千6百万円）となりました。

#### ②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数は固定客増加施策効果に加え、2017年9月に実施した打席棟リニューアル効果もあって増加し、お客様一人当たり売上高については低下傾向が継続しておりましたが、前年度後半からは下げ止まった状況を維持しています。しかしながら、リニューアルに伴い導入したポイント制度による売上高計上時期の変更影響を受け、現金収入は増加しているものの、売上高は前年同期比1.0%減の1億6千6百万円（前年同期1億6千8百万円）となり、営業利益はリニューアル工事費用の発生もあって、同9.8%減の6千6百万円（同7千3百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は80億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億7百万円増加しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比5億9千4百万円増の52億3千7百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少する一方で、現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は同2億1千3百万円増の27億7千9百万円となりました。これは主に投資有価証券や有形固定資産の増加があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比1億8百万円増の26億2百万円となりました。これは主に買掛金の減少がありましたものの、1年内償還予定の社債やリース債務、未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は同4億6千7百万円増の14億4千9百万円となりました。これは主に社債及び長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比2億3千2百万円増の39億6千5百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成29年11月8日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,532,684	2,332,447
受取手形及び売掛金	1,383,060	1,128,356
商品及び製品	1,131,621	1,095,091
仕掛品	235,862	315,214
原材料及び貯蔵品	183,047	199,400
その他	182,477	172,559
貸倒引当金	△5,679	△5,630
流動資産合計	4,643,074	5,237,439
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	730,057	695,332
土地	738,508	738,508
その他（純額）	492,682	600,427
有形固定資産合計	1,961,248	2,034,267
無形固定資産	36,407	34,197
投資その他の資産	568,354	711,079
固定資産合計	2,566,010	2,779,545
資産合計	7,209,085	8,016,984
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	274,993	231,818
短期借入金	1,765,246	1,751,036
1年内償還予定の社債	—	60,000
未払法人税等	21,469	56,874
その他	432,741	502,897
流動負債合計	2,494,450	2,602,626
固定負債		
社債	—	240,000
長期借入金	716,021	817,357
退職給付に係る負債	55,301	62,042
その他	210,564	329,664
固定負債合計	981,887	1,449,063
負債合計	3,476,337	4,051,690
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,089,366	2,236,446
自己株式	△154,843	△163,879
株主資本合計	3,385,568	3,523,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,108	264,864
その他の包括利益累計額合計	178,108	264,864
非支配株主持分	169,070	176,816
純資産合計	3,732,747	3,965,294
負債純資産合計	7,209,085	8,016,984

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,046,589	4,439,342
売上原価	2,596,484	2,816,247
売上総利益	1,450,105	1,623,094
販売費及び一般管理費	1,149,322	1,228,365
営業利益	300,783	394,729
営業外収益		
受取利息	59	49
受取配当金	11,202	12,267
受取家賃	6,442	5,990
その他	5,822	6,120
営業外収益合計	23,527	24,428
営業外費用		
支払利息	25,760	25,585
売上割引	33,186	35,464
その他	1,259	6,840
営業外費用合計	60,205	67,890
経常利益	264,104	351,266
特別損失		
固定資産除却損	741	—
特別損失合計	741	—
税金等調整前四半期純利益	263,362	351,266
法人税等	86,241	120,861
四半期純利益	177,120	230,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,102	17,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	166,017	212,738

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	177,120	230,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,788	87,336
その他の包括利益合計	42,788	87,336
四半期包括利益	219,909	317,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,233	299,495
非支配株主に係る四半期包括利益	12,675	18,246



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,878,031	168,557	4,046,589	—	4,046,589	4,046,589
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,878,031	168,557	4,046,589	—	4,046,589	4,046,589
セグメント利益	226,881	73,901	300,783	—	300,783	300,783

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,272,507	166,834	4,439,342	—	4,439,342	4,439,342
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,272,507	166,834	4,439,342	—	4,439,342	4,439,342
セグメント利益	328,077	66,652	394,729	—	394,729	394,729

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「レジャーその他事業」に記載しておりました株式会社ロブメディカルを前連結会計年度において清算し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「レジャーその他事業」を「レジャー事業」に変更しております。